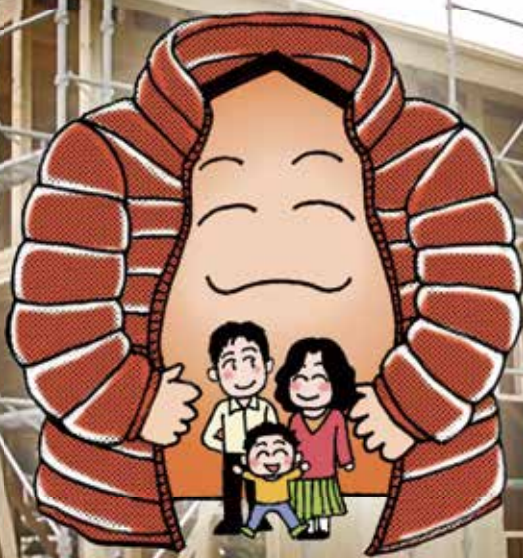


断熱気密専門工事店

(有)断熱気密サポート

省エネルギーで快適な家づくりを応援します



家にダウンを着せたような

暖かい家づくりの施工を 応援します

営業品目

- 断熱材吹込み工事
- 断熱材充填工事
- 付加断熱工事
- 気密防湿工事
- 気密測定
- 断熱材気密部材販売



《断熱気密の施工部位と断熱材》

省エネ基準をスタンダードに
さらに高性能を実現する付加断熱型
高精度な施工で永続する断熱気密性能

※ HGW 16K 105mmとは

HGW(高性能グラスウール)
16K(密度)105mm(厚さ)

天井断熱

- ・吹込み用グラスウール18K
- ・セルローズファイバー
- ・ロックウール
- ・高性能グラスウール16K

天井

300mm～400mm

天井
200mm～250mm

気密(シート気密)
ポリエチレンシート0.2mm
※合板気密別途

気密(シート気密)
ポリエチレンシート0.2mm
※合板気密別途

壁 シングル充填
HGW16K
105mm

壁 付加断熱
充填部HGW16K
105mm
付加部HGW16K
105mm

床 HGW32k 80mm

床 HGW16k 150mm

省エネ基準型

付加断熱型

断熱仕様と目安となる性能

開口部	ガラス	換気	UA値	Q値
樹脂サッシ	LOW-Eペア	第三種	0.5	1.9
樹脂サッシ	高性能LOW-Eペア トリプルガラス	熱交換型	0.30～0.35	1.2

3地域省エネ基準 UA値 0.56W/m²h

屋根断熱の場合



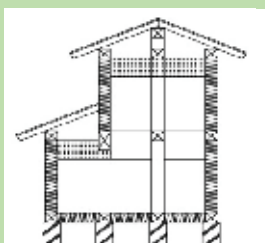
HGW16k 250～300mm

◇施工前打ち合わせシート◇

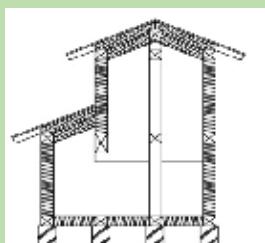
建て方時に工務店がすること、工事会社がすることの打ち合わせが必要です

断熱部位による高断熱住宅の基本4型

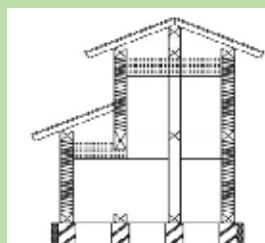
断熱気密サポートは新築でもリフォームでも「基本4型」の施工に対応できます。(基礎断熱除く)



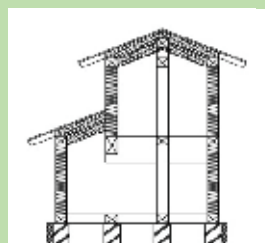
天井断熱 — 床断熱



屋根断熱 — 床断熱



天井断熱 — 基礎断熱



屋根断熱 — 基礎断熱

※基礎断熱施工は受注しておりませんのでご了承ください

《床・壁・天井屋根の断熱気密施工》

1 天井屋根の断熱気密

☆印 要打ち合わせ事項



■標準施工 防湿シート+吹込みGW13,18K 又はセルローズファイバー、ロックウール
桁上断熱高性能GW16K 200m ※屋根断熱高性能グラスウール16K 要別途打合せ

2 壁の断熱気密



■標準施工 防湿シート+高性能GW16K 105mm ☆気密コンセントボックス、 ☆上下気流止め☆開口部周り

3 付加断熱の断熱気密



■標準施工 高性能GW16K 105mm ☆開口部雨仕舞 ☆防風透湿シート☆他

4 床の断熱気密



■標準施工 高性能グラスウール32K 80mm 16K105mm ☆気流止め ☆断熱材落下防止 ☆浴室、水回り

吹込み用グラスウール

不燃材のガラスを主原料として高い断熱性能と耐久性・安全性に優れた地球にやさしい断熱素材。



パラマウント硝子工業株式会社
ニューダンブロー

セルローズファイバー

主原料は新聞古紙。吸音性・吸放湿性に優れた環境にやさしいリサイクル素材。



日本製紙木材株式会社
スーパージェットファイバー

ロックウール

耐熱温度が650℃以上で、万が一の火災時の延焼防止に適した、人と環境にやさしい断熱素材。



日本ロックウール株式会社
ホームブローウール

気密測定

断熱気密の責任施工は、工事完了後の気密測定を実施します。

目標気密性能1.0Cm²/m²です

◇気密測定技能士 氏名 下村 弥

技能者登録番号 06483-22

事業所登録番号 1299

測定費 ￥110,000(税込)



断熱性能計算

※新住協発行の計算プログラムQPEXを使います

《例》

建設地	盛岡市
省エネ基準 地域 区分	3地域
外皮平均熱貫流率UA値	0.56W/m ² K
当該住宅のUA値	0.34W/m ²
省エネ基準 判定	合格◎
※熱損失係数Q値	1.03W/m ²

断熱性能も燃費計算(暖房エネルギー消費量)も設計段階で計算するのが本来です。性能の目標値を設定し、それに準じた断熱仕様を決定します。

※熱計算書について

断熱性能、暖房エネルギー消費量等の計算は(一社)新住協が発行するQPEXによる当社施工物件に限る計算サービスです。諸条件はQPEXの規定に準じます。

暖房燃費計算

※新住協発行の計算プログラムQPEXを使います

《例》

暖房負荷	5,169 Kw/年	
熱源 灯油 効率85%	591 ㎘/年	53,190 円
エアコン 効率3.0	1,723 kw/年	51,690 円

省エネ基準判定のUA値だけでなく、年間暖房エネルギー消費量(燃費)まで算出します。省エネ住宅の判断には燃費計算が必要です。

暖房設備容量計算

※新住協発行の計算プログラムQPEXを使います

《例》

暖房設備 必要容量	2.7	Kwh
暖房設定条件		
設計外気温度	-5.2	℃
室内設定温度	20	℃

全室暖房時の暖房設備容量を計算し過剰設備を防ぎます。設備容量は断熱性能の良否で決まります。

(一社)新住協の省エネ計算プログラムQPEX

計算結果		単位						
部材	断面積	断面積 [mm ²]	断面積率 [%]	断面積率 [%]	断面積率 [%]	断面積率 [%]	断面積率 [%]	
大木	断面径 50 13K 13K 1805 164mm	82.12	0.190	1.0	12.340	0.100	42.340	
外壁	H3016K 1056 105mm	131.88	0.202	1.0	30.66	0.216	30.755	
土壁	土 式 200 100 100 100mm	82.12	-	1.0	20.570	0.236	29.310	
開口部	-	2.225	-	1.0	42.062	0.341	42.062	
合計	断面径 50 13K 13K 1805 164mm	35.52	0.350	1.0	12.434	0.176		
断面積合計						126.96	111.53	
断面積率						-	100.59	343.17
断面積率						1.028	0.303	
断面積率		断面積率		断面積率		断面積率		
外壁平均断面積率	1.028	外壁平均断面積率	1.028	外壁平均断面積率	1.028	外壁平均断面積率	1.028	
土壁平均断面積率	0.236	土壁平均断面積率	0.236	土壁平均断面積率	0.236	土壁平均断面積率	0.236	
開口部平均断面積率	0.341	開口部平均断面積率	0.341	開口部平均断面積率	0.341	開口部平均断面積率	0.341	
合計平均断面積率	0.350	合計平均断面積率	0.350	合計平均断面積率	0.350	合計平均断面積率	0.350	

暖房燃費計算の時代

これからは全室暖房が当たり前の家づくりになります。当然のごとく、暖房燃費が問われる時代になります。車と同じように全室暖房で一シーズンどれだけの暖房エネルギーを消費するかが問われる時代になります。当社はQPEXでサポートします。

(有)断熱気密サポートで提供したいもの

工事業者として高断熱住宅の普及促進に貢献したい

・真価が問われる高断熱高気密住宅

高断熱住宅が東北に建てられるようになってほぼ30年になります。この間、業界には様々な事象がありました。工法競争あり、外断熱至上論あり、深夜電力蓄熱暖房全盛あり、等々です。しかし、今どうでしょう。そういう声が聞こえなくなりました。大事なことは工法や断熱材ではなく、本当に省エネで快適な環境を生む断熱性能そのものだと思われなくなってきました。



代表取締役
刈田義男

・ユーザーの志向は低燃費で全室暖房できる家

高断熱住宅の登場で家中暖かくなり、ユーザーは感動しました。それまでの住宅になかった暖かさが、家中に広がり、冬の暮らしが一変しました。暖かいということだけで喜ばれました。しかし、今は違います。低燃費で家中暖かくなる家が求められています。低燃費で全室暖房できる家です。

・私たちは設備業者

水道や電気が専門業者であるように、私たちの断熱工事は、暖かい環境をつくる設備業者だと思っています。ただ断熱工事を受注するのではなく、低燃費で楽に全室暖房できる断熱性能をともなった家づくりをサポートしたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

2021年6月

会 社 概 要

■会社所在地 〒028-3601

岩手県紫波郡矢巾町大字高田13地割180-5

■資本金／900万円 ■会社設立／1994年5月

■TEL／019-681-3765 FAX／019-681-3769

■事業内容 断熱気密工事他

■社員数／8名

■売上高／104,300千円(2020年9月期)



寒い冬が来るからといって人は動物のように冬眠できません。渡り鳥のように空を飛んで移動することもできません。植物のように葉を落として春を待つこともできません。だから人には家があります。暖かい家があります。断熱材にすっぽり包まれた暖かい家があります。断熱材が効いた家は夏も冬も快適で疲れが取れます。明日に向かって元気になるれます。やっぱり高断熱住宅がいい。

(AK)

私たちはSDGs 持続可能な社会目標をもって、保全に貢献します

SDGs (Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標

エス・ディー・ジーズ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

【例えば・・・グラスウール断熱の特徴】

原材料の社会性

85%がガラスのリサイクル



リサイクルの重要性がますます高まってきた日本。中でもプラスチック問題は新たな課題。グラスウールの原材料は市中のガラスリサイクル品の利用率85%と循環型社会形成に貢献している。

強靱な都市づくり

火災に安全な認定不燃材



断熱材の燃焼実験

可燃性の高い断熱材が住宅に多用されると火災時には人にも周囲にも危険。よく報道される建設現場の火災事故は断熱材が原因となっているケースが多い。グラスウールは認定不燃材。都市の大規模火災時、延焼を増幅することはない。

省エネルギー

冷暖房エネルギーの大幅削減

高断熱住宅が普及して、冷暖房の省エネ性は実証されている。冬の快適性追求だけでなく、異常な夏の暑さに全室冷房の暮らしが増えている。今や、全室冷暖房の時代である。高断熱は家庭の冷暖房エネルギー削減に貢献している。

高耐久性

壁をはがして壁体内検証

一時期、グラスウールの耐久性や劣化が喧伝されたことがあったので、正しい施工が行われた住宅の外壁を解体し断熱材を検証した。検証件数は4件。最大築17年経過住宅も含め、グラスウールは損傷なく機能していることが目視された。

資料 硝子繊維協会



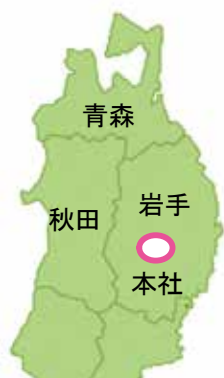
青森県十和田市 平成15年検証 築7年住宅



長野県安曇野市 平成18年検証 築12年住宅



営業範囲



〒028-3601

岩手県紫波郡矢巾町大字高田13地割180-5

《お問い合わせ》

TEL 019-681-3765

FAX 019-681-3769

Mail dksapo-to@dannetukimitu.com

URL <https://www.dannetukimitu.com>



■有資格者

- ・2級建築士 1名
- ・2級建築施工管理技士 1名
- ・BIS認定士 1名
- ・気密測定技能者 1名

■所属団体

一般社団法人新木造住宅技術研究協議会